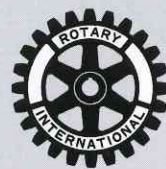


広報

ロータリー



発行 平成29年(2017)7月10日

季節のたより

No. 39

平田ロータリークラブ広報委員会



出雲路を走り続けた旅客電車 デハニ 50形に想う

わが出雲路を走り続けたこと85年間、デハニ50形の電車はその役目を終え今は静かに雲州平田駅構内で余生を送っている。戦時中には出征兵士として日の丸の旗に見送られ、戦後は集団就職の名の下に、中学生が旅立つ惜別の舞台となったのが雲州平田駅のプラットホームであった。親元を離れ職を求め東京や京阪神に向かった。デハニ50形の電車がそこにあった。一畑電車の乗客数は年間360万人をピークに現在は140万人である。2010年には映画「RAILWAYS」にデハニ50形がモデルになり俳優中井貴一氏が運転士に扮した。出雲路を走るデハニ50形の姿は正に出雲にふさわしいシーンであった。わが平田ロータリークラブは毎週例会日の一つをデハニ50形電車内を選んだ。食事をいただきながら電車の想い出は尽きることなく…出雲路を走った一畑電車デハニ50形にそこはかかない詩と哀愁を感じずにはいられない例会であった。

H.T記

HIRATA ROTARY

ロータリーは

人道的な奉仕を行い、あらゆる職業において高度な道徳的水準を守ることがを奨励し、世界における親善と平和に寄与することを旨とした実業人、専門職業人が世界的に結び合った団体です。

1 業種 5人以下、週1回のクラブ例会を通じ親睦を深め、職業を通して地域社会へのより多くの奉仕の機会を得ようとはかっています。

名称 平田ロータリークラブ

所属 国際ロータリー第2690地区第4グループ

創立 昭和49年5月30日

会員数 43名(平成29年6月1日現在)

クラブ例会 毎週木曜日12時30分～13時30分

事務所 〒691-0001 島根県出雲市平田町2280-1

平田商工会議所内2F

TEL (0853)63-3232 FAX (0853)63-5365

ホームページ <http://hirata-rotary.jp/>



ロータリーを楽しもう

2016年-2017年会長 田中浩史

ロータリークラブは1905年にアメリカのシカゴで弁護士ポール・ハリスPaul P.Harris(1868-1947)が友人4名と、一つの職業につき1人の会員を原則としてクラブを創立したことに始まります。日本では1920年に三井銀行の重役であった米山梅吉が、東京に日本で初めての世界で855番目のロータリークラブを設立しました。世界的にはウィンストン・チャーチル、ジョン・F・ケネディー、ダグラス・マッカーサー、マーガレット・サッチャー、身近なところではケンタッキーフライドチキンのカーネルおじさん、日本では松下幸之助などの、過去の偉大なる政治家や経済人もロータリアンでした。世界の会員数は約120万人、日本では2262クラブ約9万人がロータリークラブの会員です。よき伝統、よき行動があればこそ110年余りも続いています。平田ロータリークラブは1974年(昭和49年)に創立されました。ロータリーの活動の中心となるのがほぼ毎週の例会で、会員は仲間たちとの交流を楽しみながら、情報を交換し、奉仕について話し合い、より良い地域社会づくりに力を注いでいます。今年度は、平易な言葉で「ロータリーを楽しもう」をテーマにあげさせていただきました。例会の食事の味わいを楽しむもよし、例会やその他の会合で会員同士の交流を楽しむもよし、ゴルフや囲碁や卓球などの同好会で楽しむもよし、楽しみ方はいろいろ数限りなくあります。楽しいと感ずると、心が満ち足り、そして心がやすらぎます。例会ではさまざまな職業の会員との出会い、次の例会での再会のさらなる楽しみ、楽しみは幸せを倍増させる、心を満たさせる、そのなかから会員相互の信頼も生まれます。そのような平田ロータリークラブであってほしいと思います。

「四つのテスト」との出会い

平田ロータリークラブ幹事 小汀泰之

平田ロータリークラブは、例会の冒頭「四つのテスト」を唱和し会合をスタートします。それは次のように示され、ロータリー会員の行動指針となっています。

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

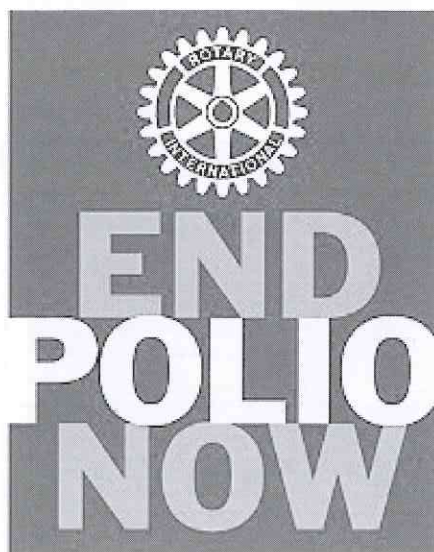
1954-55年度に国際ロータリー会長を務めたハーバードJ・テーラーが、1932年の恐慌の時、倒産の危機に瀕していた調理器具メーカーの再建を要請され社長に就任したとき、「四つのテスト」を示し、正しい営業活動を行えば必ず会社は再建できると考え実行しました。同社の業績は改善を続け、5年後には借金を完済、15年後には株主に多額の配当金を分配するまでになったのです。

行動するにあたっての判断基準が示された「四つのテスト」は、私が入会して初めて接したものでした。ともすると日常の喧噪の中に埋没し目先の判断にとらわれがちな私にとって、一歩下がって全体を見据える大切な指針となっています。

今、私たちは新しい会員を求めています。一緒に活動してみませんか。



続「End Polio Now ~あと少し」



かつて小児麻痺と呼ばれたポリオ（急性灰白髄炎）は、病原体であるポリオウイルスが脊髄の灰白質という部位に入り、神経細胞を傷害して筋肉を麻痺させる病気です。手足の筋肉が萎縮して細くなる、あるいは呼吸筋が麻痺すると呼吸ができなくなって死亡することもある病気です。治療法はなく、予防接種が唯一の対応策です。予防接種が普及するまでは世界中で年間35万人がこの病気にかかっていました。

日本でも1950年代～60年代に大流行し、ソ連（当時）からのポリオ経口生ワクチン緊急輸入を契機に1964年から予防接種が開始されました。経口生ワクチンは口に入れるだけの簡便なワクチンで、免疫力も得やすく、接種回数は2回、ワクチン費用や接種に伴う人件費も低価格です。大流行の中で感染を予防する効果は絶大ですが、接種を受けた子どもの便にワクチン株ポリオウイルスが検出されることがあり、稀ながら接種者あるいは接触者にポリオ様の

麻痺を発症するという副作用があります。そのため、日本でも2012年11月以降不活化ワクチンの注射（四種混合ワクチンとして計4回）に変更されています。発症ゼロをめざし、ゼロを維持する時期には、不活化ワクチンが重要です。

予防接種の導入により、日本では1980年を最後に、（ワクチン株ポリオの発症を除いて）いわゆる野生株ポリオの発症はみられません。子どもたちに対するポリオ予防接種は現在も続いています。ポリオ不活化ワクチンの価格は1本当たり5000円程度上積みされていますので、日本全国で1年間に出生する子ども約100万人に4回接種すると約200億円の費用を要しています。

ロータリーでは1979年にフィリピンで600万人の子どもにポリオ経口生ワクチン予防接種を開始しました。1980年に地球上から天然痘が根絶されたこともあり、1985年には世界中のロータリークラブの連合体である国際ロータリーがポリオプロジェクトを立ち上げ、3年後の1988年にはロータリー会員からの募金額が2億4700万米ドルに達しました。その後、世界保健機関（WHO）、ユニセフ、米国疾病対策センター、国際ロータリーが中心となって「世界ポリオ撲滅推進活動」を発足させました。2009年以降、ビル&メリンダ・ゲイツ財団からロータリーの寄付額に応じた資金提供協力を受け、発展途上国を含む世界各地で予防接種活動を拡大させ、撲滅地域は徐々に広がりました。現在、多くの地域でポリオの発症がみられなくなり、2016年はアフガニスタン、パキスタン、ナイジェリアの3カ国で発症者は計37人にまで減少、2017年も5月末現在5人に留まっており、発症者ゼロにはあと少しです。

ポリオは、天然痘に続いて人類が地球上から根絶することができる病気です。世界中で3年間野生株ポリオの発症ゼロが証明され、WHOがポリオの根絶を宣言した後は、世界中でポリオ予防接種を終了することができます。ポリオ撲滅は他国のことではなく、いずれ日本の予防接種費用を削減することにも繋がる身近な問題です。

あと少しではありますが、発展途上国の各地に、冷蔵状態の不活化ワクチンを確実に届けて、保管し、医療従事者の手によって子どもたちに注射されるためには、まだまだ莫大な費用が必要です。ポリオに対する国際ロータリーの寄付総額は25億米ドルを超えていますが、ロータリー会員の寄付だけでは到底まかなえません。ロータリーの募金活動にご協力をお願いします。寄付による税制上の優遇措置をお考えの方は、公益財団法人ロータリー日本財団 (<http://piif-rfj.org/contribute.html>) にご連絡下さい。ご不明な点があれば、平田ロータリークラブ事務局にお問い合わせ下さい。

ポリオ撲滅活動にご理解とご協力をお願いします。

「笑いの医療」

(29年6月1日)

医学博士

安部 正之 様



若い頃から落語に興味があり、色々な機会を通じて落語家になりたい願望がありました。2006年に四代目「春雨や雷蔵」への入門が叶い、「春雨や落雷」を襲名しました。8年前に開業医院を若い医師に譲り、現在は落語家としての活動を続けています。特に医師の立場で笑いの医療について講演をおこなっています。

笑いは治療の補助的な効果に役立ち、病気の予防や健康維持につながります。笑いの効果が顕著なのはガンですが、血糖値や中性脂肪の低下、アトピー体質の軽減、脳の血液循環にも良いことが知られています。菌やウイルス、またガン細胞などから自己防衛する働きを免疫といいます。笑うと免疫が高くなります。免疫の主役は、リンパ球の一部で体内に約50億個あるNK細胞です。血液中を巡って菌やウイルス、ガン細胞などを食べています。

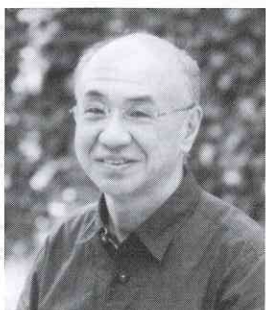
NK細胞の動きが強い人は良く笑う人で、笑った直後にはNK細胞が増えます。大笑いすると2時間くらい持続します。人間が1日に笑う量を時間で合計すると僅か23秒程度といわれています。笑ったふりや笑った動作をして顔が笑った表情になるだけでも脳からホルモンが出て、NK細胞が強まることわかっています。免疫力を高めるために大笑い3回を1日5セットおこなうことが勧められます。笑いは費用もかからず、道具もいらず、どこでもできますので、ぜひお試し下さい。

「私の楽しみ」

(28年11月24日)

平田中学校 吹奏楽顧問

古川 慎治 様



本日は、私が日々楽しみにしていること、また指導していることについてお話をいたします。

生徒に指導する中で私が一番大切に考えていることは、生涯にわたって楽器を楽しむことができるよう、基礎を大切にすることです。リラックス、正しい呼吸、正しいフォーム、この3つの基礎を理解し、意識をして練習に取り組むよう指導しています。この基礎を元に、良い音楽のイメージを頭の中に持つことを意識させています。日々、よく理解した上での練習が重要で、また練習中の失敗は恐れないことを指導しています。

中国5県の中学校吹奏楽のレベルは高く、エントリーは500校、その内全国大会に出場出来るのはたった3校です。小学生からの環境がとても大事です。これからも日々楽しみながら指導をしていきたいと考えています。

中国5県の中学校吹奏楽のレベルは高く、エントリーは500校、その内全国大会に出場出来るのはたった3校です。小学生からの環境がとても大事です。これから日々楽しみながら指導をしていきたいと考えています。



愛の献血運動 (28年7月24日)

7月24日平田まつり会場において献血運動を行いました。

申込者40名。うち献血者36名。



環境美化活動 愛宕山公園清掃奉仕 (29年6月15日)



歳末高齢者福祉募金

12月の忘年例会の際に会員・家族から募った歳末高齢者福祉募金を「万田の郷」・「るんびにい苑」に寄付いたしました。



万田の郷



るんびにい苑

平田ロータリークラブ会員名簿

会長 田中 浩史
幹事 小汀 泰之

副会長 佐々木哲也
副幹事 曾田 敏康

平成29. 6. 1現在

氏名	職業分類
遠藤 栄	ガス供給
福田 磨寿穂	司法書士
河原 治子	医療法人
原 孝士	印刷
原 泰久	飲食業
日野 寿明	商業銀行
堀江 卓男	ホテル
飯塚 大幸	仏教
飯塚 詔夫	呉服
飯塚 俊之	米穀業
石原 俊太郎	石油卸販売
石原 輝男	薬剤師
板垣 文江	社会保険労務士
伊藤 義徳	産婦人科医
釜屋 治男	司法書士
加藤 昇	文房具販売
清原 正幸	自動車販売
黒田 昌弘	税理士
來間 久	菓子製造販売
久家 正義	菓子製造販売
牧野 昭雄	循環器科医
槇野 良文	電気

氏名	職業分類
三好 洋平	銑鉄铸件製造業
持田 稔樹	建設業・建築
持田 祐輔	清酒製造
小汀 泰之	税理士
小村 益造	宅建業
大島 治	事務用品販売
大島 卓爾	私立学校
大谷 厚郎	電車
大谷 良治	印刷企画
佐々木 哲也	胸部外科
園山 繁	ホテル
曾田 敏康	管工事業
杉原 朋之	葬祭業
高砂 明弘	醤油製造
田中 久雄	写真
田中 浩史	写真用品販売
土江 光二	土木・土工・浚渫業
恒松 克己	口腔外科
内田 節夫	保険代理業
山口 弥	舗装工事業
山根 章一	板金工作

平田ロータリークラブでは、新しい仲間を募集しています。
私たちと一緒に奉仕の活動に参加してみませんか。
お待ちしております。



発行／平田ロータリークラブ広報委員会